

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	情報リテラシー		
英文授業科目名	Information Literacy		
開講年度	2007年度	開講年次	2年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	システム工学科		
担当教官名	鈴木 和幸		
居室	西5 - 605		

公開E-Mail	授業関連Webページ
suzuki@se.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>さまざまなソースからの情報を報告、表現、抽出、加工するための道具としてのコンピュータの使い方を学んでもらうことを目標としています。具体的には、ワープロ、プレゼンテーション、表計算、数式処理、シミュレーション、図形処理、画像処理などのソフトウェアを使用して、実際にどのように使えば良いかを講義と演習課題を通して身に付けてもらいます。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
<p>コンピュータリテラシーと基礎プログラミングを修了していることを前提としています。</p>

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
<p>特になし。</p>

【教科書等】
<p>指定しません。毎回の講義で、資料を印刷またはファイルで配布します。</p>

【授業内容とその進め方】

毎回の講義は、その回に習得して欲しい事項の説明と実習をしてもらいます。
そして、演習課題を通して、経験を深めてもらうことを目標にしています。

講義は13回分を予定し、残りを補習にあてる予定ですが、進捗に応じて調整します。

下記は演習の内容も加味したおよそのスケジュールです。受講者の理解度により、適宜、順番を入れ替えます。

- 第1回 情報リテラシーとは
- 第2回 コンピュータの使い方とワープロ
- 第3回 数式処理(入門)
- 第4回 数式処理(プログラミング)
- 第5回 プレゼンテーション
- 第6回 表計算(入門1)
- 第7回 表計算(入門2)
- 第8回 表計算(実験データの解析1)
- 第9回 表計算(実験データの解析2)
- 第10回 表計算(回帰分析)
- 第11回 表計算(線形計画法)
- 第12回 数式処理(グラフィックス)
- 第13回 数式処理(線形計画法)

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

単位取得の要件は、出席については次の通り。

- ・最初のガイダンスに必ず出席すること
- ・計算機室ガイダンス(情報リテラシー演習の初回)に出席すること
- ・三分の二以上は出席すること
- ・遅刻は減点の対象となるので、遅刻しないこと

レポートについては、次の通り。

- ・出席した回のレポート課題のみを受理するので、できるだけ出席すること
- ・提出期限に遅れたレポートは、大幅に減点されるので、できるだけ期限内に提出すること

最終的な成績評価は、総点で行うが、例えばすべてのレポートを期限内に提出し、評価が優になったものが優となるように評価する。三分の二しか出席しなかった場合には、よほど提出するレポートの評価が良くないと、単位が取得できないので、欠席については各自で責任を持つことを期待している。

電気通信大学 平成19年度シラバス

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じますが、mail等で事前にアポイントをとってください。情報リテラシー演習の時間中に相談して下さると、お互いに都合が良いかもしれません。

【学生へのメッセージ】

様々な課題を通してコンピュータを、全員が研究目的に使えるようになることを目指しています。

【その他】